

新「あけぼの医療福祉センター」 9月1日に開所

障害の重度化・重複化などに対応するため、平成13年度から再整備が進められてきた「あけぼの医療福祉センター」（椎崎市）の業務が、9月1日から開始されました。

新「あけぼの医療福祉センター」は、重症心身障害児施設の入所定員を拡大し、介護体制の充実を図ると同時に、新たな診療科目として「リハビリテーション科」及び「皮膚科」を開設するなど、リハビリテーション機能や外来機能など医療機能の向上も図っています。

また、在宅の障害児（者）をもつ家庭への支援機能を充実するため、新たに、重症心身障害児（者）を対象とした通園事業を



新しくなった「あけぼの医療福祉センター」

開始するとともに、障害児（者）に関する療育相談や福祉情報の提供を行う総合相談窓口も設けられました。

建物は、木の素材の持つやさしさやぬくもり感を出すため、内装に積極的に木材を使用しています。また、プライバシーを確保できるよう、可能な限り居室の個室化を進める一方、複数居室でも各ベッドサイドに窓を設けるなど個室的要素を取り入れる工夫がされています。

新「あけぼの医療福祉センター」は、利用者本位の施設として、利用者の多様なニーズに応えながら、県の障害者福祉・医療の中核施設としての役割を果たしていきます。



上空から見た、センター全景

さまざまな世代の県民と知事との対話 県内各地で開催

県内の各分野の第一線で活躍している若手の方々とは知事とが膝を交えて意見交換を行う「活力やまなしヤングリーダー」との懇話会が6月に県立大学で開催され、「山梨県長期総合計画 創・甲斐プラン21」の進捗状況について県側が説明した後、観光・少子化対策・環境などへの取り組みについて、意見・提言をいただきました。

7月には、県内3カ所で「活力やまなし県民フォーラム」が開催され各地域ごとに設定されたテーマ（高齢者・障害者福祉の推進、観光施策など）について、意見交換が行われ

た後、「誇れる郷土 活力ある山梨の実現に向けて」を共通テーマに県政の推進に対する意見・提言をいただきました。

また、8月には、「知事を囲む小学生のつどい」が韮崎市で開催されました。21世紀の担い手である小学生に、本県の産業・教育・文化・環境・福祉への理解を深めてもらい、ふるさと山梨を愛する心を培うことを目的に、毎年、行われている催しです。「私が描く未来の山梨」をテーマとした意見発表では、山梨の魅力ある将来像への提案なども寄せられました。



知事を囲む小中学生のつどい



活力やまなしヤングリーダーとの懇話会

「山梨おもてなしの食の逸品百選」 お披露目会開催

県内の宿泊施設や料理店から募集した県産食材を活かした料理「食の逸品百選」のお披露目会が、9月11日に笛吹市で行われました。お披露目された料理は、「山梨らしさ」や「こだわり」などをもとに選出されたものであり、大型観光キャンペーン中、旅行者や旅行雑誌などを通じて全国に向けてPRしていきます。

また、お披露目会に併せ、服部栄養専門学校校長の服部幸應氏から、山梨の食材を使い、県産ワインに合う新たな郷土料理も提案されました。



自慢の料理を旅行者などにアピール

NHK大河ドラマ「風林火山」 山梨県内でクランクイン

来年1月から放映が始まるNHK大河ドラマ「風林火山」の山梨ロケが北杜市で始まり、初日の8月25日には、諸国を放浪する浪人山本勘助が甲斐国にはじめてやってきたという設定で、勘助初登場のシーンの撮影が行われました。また、北杜市にある「風林火山館」でも9月上旬まで撮影が行われました。

ロケ前日には、勘助役の内野聖陽さんが、山本知事を表敬訪問し「県民のみなさんの期待以上の勘助を演じていきたい」と意気込みを語ってくれました。



セットの前で撮影の抱負を語る内野聖陽さんと貴地谷しほりさん

「国産ワインコンクール」開催 全国23道府県から518本の出品

国産のブドウを100%使用して造ったワインの品質と知名度の向上を目的とした「国産ワインコンクール」が、今年も7月19日から3日間開催され、外国人を含む20名の審査員が、ワインの色・香り・味などのバランスについて審査を行いました。

8月1日に審査結果が発表され、最高賞の金賞9点の中に本県産ワイン3点が入選しました。

8月26日には、受賞したワインの公開テイスティングが開催され、国産ワインの素晴らしさがPRされました。



出品されたワインをテイスティングする審査員

中部横断自動車道「新直轄方式区間」の 中心杭打ち式開催

「新直轄方式」で建設が行われる中部横断自動車道富沢IC（仮称）～六郷IC（仮称）区間の中心杭打ち式が7月9日、身延町一色で開催されました。

式典では、中部横断自動車道の進捗状況とこれからの取り組みを説明した後、地元の小学生も参加し、杭打ちを行いました。

また、中部横断自動車道沿線地域となる静岡・山梨・長野三県の「特産品」や「郷土芸能」などが披露され、地域の魅力がPRされました。



地元の小学生も参加した中心杭打ち式